

社会福祉法人愛誠会 幕張キッズ（児童発達支援）
保護者等からの事業所評価の集計結果

実施日	令和2年11月9日～12月10日
配付数	23件
回収数	14件
回答方法	無記名

※ご意見を踏まえての対応につきましては、『事業所における自己評価結果』も参考にご覧ください。

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえての対応
環境・体制整備	① 子どもの活動スペースが十分に確保されているか	13	1	0	0	・マンションの一室ではあるが子供達が十分に動き回れていると思う。	その時の子ども的人数に見合った活動を提供し、公園の利用や、過ごしやすい環境を提供する。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	13	0	0	1	・先生が一人辞めてしまったので人数が足りているのかわからない。	加配している。保育士・児童指導員・社会福祉士・特別支援教育士等で対応している。職員入職の保護者全体へのお知らせがタイミングが合わず遅くなった。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	12	1	0	1	・マンションの一室なのでバリアフリーとまではいかない。室内は子供の使いやすい空間になっていると思う。	構造化と視覚・聴覚各々に適したわかりやすい指示等配慮している。ベビーカー使用者には適宜職員が外に出て協力する。トイレ等の段差では危険が無いよう介助する。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	13	0	0	1	・中にまで入っていないのでわかりません。 ・コロナ対策も十分にされていて良いと思う。	部屋の構造上換気が難しいが、送風やドア開けで可能な換気をしている。新型コロナウイルス対策としてこれまで以上に室内や玩具等の消毒を実施している。今後、衛生面の対応も写真等で紹介する。

	チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえての対応
適切な支援の提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	14	0	0	0	・親の希望も取り入れつつ本人にあった計画をたてて頂けている。 ・身振りサインなど今までやったことがないようなことも、どんどん挑戦させていただいているのでとても助かります。	今後も適切に立案できるようにする。
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	13	0	0	1	・一人一人その子に合った支援がされていると思う。	家族支援においても可能範囲で取り組み、地域支援については何が可能か検討している。
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	14	0	0	0	・十分満足しています。	今度も適切な支援を実施できるようにする。
	⑧ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	14	0	0	0	・毎回色々な事が体験できてイベント等も楽しく参加できる。	個別課題の他、年齢や発達段階に合わせたあそびの提供をする(感覚・操作あそび～ルールあるカードあそび等)
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	1	2	7	・交流の意味がお互いの先生の情報交換であればはいです。 ・もしかしたらそういった機会があるのかも知れませんが参加したことはないです。	多くの子どもが幼稚園・保育所に所属している。また、公園で遊ぶ時に接する機会がある。
保護者への説明等	⑩ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13	0	0	1	・入所時にあった。	今後もわかりやすい説明を心掛ける
	⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	13	0	0	1	・面談の際に細かく説明していただけていると思う。	ガイドラインのねらいや支援内容より、個々の具体的な支援内容が主となっている。検討していく。

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえての対応
⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレントトレーニング）等が行われているか	9	2	1	2	・いつも相談に乗ってもらっています。 ・子育ての悩みやアドバイスにも乗ってくださって助かっている。	プログラムとしては資格を持つ者が行うべきと考えているため、当所では支援員ができる範囲の家族支援をしていく。
⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	14	0	0	0	・先生方は子供の性格や状況をよく理解して下さっていてありがたい。 ・お迎えに行った際に子供の様子をいつも細かく教えていただけるので安心してあずけることができます。	今後も共通理解できるよう努める。
⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	14	0	0	0	・連絡帳や送迎時に良くアドバイスを頂いています。 ・子どもの様子を褒めてもらえることが多いので親としても嬉しくて精神面で支えになっていただいています。	個別支援計画更新時および必要時に面談している。相談に関しては都度解決策の提案等している。今後も職員の質の向上を図り、相談に対応できるようにしていく。
⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0	3	3	8	・特に保護者同士のものはない。	毎日同じ児童が会うクラス制ではないため、父母の会の有効性・必要性を検討中である。現在は職員を通して保護者の繋がりを持てるようにしている。今後も検討していく。
⑯	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	14	0	0	0	・悩みを相談するとすぐにアドバイスを下さったり、子供と練習をしてくれたり対応が早い。	日々の相談に対応する他、苦情申し立ての仕組みがある。
⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	14	0	0	0	・毎回連絡帳に細かく書いてくれて	今後も意思疎通や情報伝達の配慮に取り組んでいく。

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえての対応
	⑱ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	14	0	0	0	・月に一度のお手紙に色々書いてあるのでかさず読んでいます。	今後もおたより・なのはな通信・ホームページで伝えられるようにする。
	⑲ 個人情報の取り扱いに十分注意されているか	13	1	0	0	・ホワイトボードの顔写真と名前、見ようとすれば見ることが出来てしまう。 ・問題ないです。	顔写真の名前は無くし、子供たちには書いて見せる方法に変更した。今後も気にかけて行動し、所持品の入れ間違い等も無くなるよう注意深く留意していく。
非常時等の対応	⑳ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明がされているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	12	0	0	2	・入所時に説明があり、定期的に避難訓練がある。	今後もマニュアルに沿って訓練等実施するとともに、保護者に伝えていく。
	㉑ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	13	0	0	1	・利用システム上仕方ないですが、全ての子供が訓練を受けているわけではないのでそこが気がかりです。 ・避難訓練をしてくれている。	避難訓練の実施、非常持ち出し物の準備、消防署への届け出をしている。非常災害時には職員の判断・行動が重要なため、日頃から意識を高くする。
満足度	㉒ 子どもは通所を楽しみにしているか	12	2	0	0	・毎回楽しく通所しており本人の居場所の一つとなっています。 ・行ってしまえば楽しいのはわかっているのに行くのは嫌がる。	一人ひとりに合った支援を実施し、楽しみに通所できるようにする。
	㉓ 事業所の支援に満足しているか	14	0	0	0	・職員の皆様に感謝しています。 ・十分満足している。	個々に寄り添い様々な支援ができるよう目指していく。

社会福祉法人愛誠会 幕張キッズ（児童発達支援）

事業所における自己評価結果

令和2年12月

※職員5名中1名は11月下旬に入職したため、回答は4名である。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等のスペースとの関係で適切である	4	0	体を動かすには狭いため人数が少ない時にミニサーキットなどを実施している	今後も現在あるスペースを有効に住み分けし、狭い中でも活動内容に工夫して安全に楽しく過ごせるようにする。
	② 職員の配置数は適切である	4	0	加配している	
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	0	玄関・トイレは段差があるが必ず職員が付き添っている。情報伝達にも配慮している。 カバン入れ、玩具箱にはその玩具の写真を貼り、片付ける場所などをわかりやすくしている。	今後も絵カードの有効活用をし、玄関外の段差については、ベビーカー使用者等には適宜手伝うようにする。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4	0	新型コロナ対策も加わり一層消毒や空間作りに配慮している。毎日の消毒と加湿等を行っている。 活動に合わせラグマットでスペースを作ったり机を出すなどし活動スペースを設けている。 感染症対策を含め消毒や清掃を徹底している。	今後も毎日の清掃・消毒の継続、新型コロナ感染防止策として机上パーテーションの使用や席位置の配慮、活動しやすい空間作り、トイレ等臭いの軽減を実施する。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画しているか (回答無記入1)	3	0	会議で扱っている。	会議と日々の会話の中で提案・検討・改善ができるようにしている。目標管理・業務意識についてのセルフチェック表を実施している。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	0	保護者の意見を取り入れ改善に努めている	評価を実施し、会議で改善点を検討している。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	0	ホームページに公開している	
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	2	法人として第三者委員を検討している。市の実地指導を受けている。	第三者委員について今後も検討していく
	⑨ 職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保している	4	0	毎月職場内研修を実施。外部研修には適宜参加している。	
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4	0	当所アセスメントをはじめ、幼稚園や家庭でのニーズを分析して立案している	
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	0	事業所独自のアセスメントおよび保護者から標準化されたアセスメントの結果と所見の提供を受けて個別支援計画に反映している。	
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4	0	地域支援は比重としては低くなっているが可能範囲で連携している。	
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4	0		
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っている	3	1	個々で考えたものを共有している。	各活動の担当者・個別支援計画の担当者が、それを基に案を提案しあって活動につなげているが、それぞれの意見が有意義に成長につなげられるように工夫する。
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	1	季節ごとの行事も毎年異なる内容になるよう工夫している。	体を動かす活動や、トランプ等のカードあそび、朝の会での活動等、その日の児童によって検討・提供しているが、今後も常に工夫の視点を持ち取り組んでいく。 サーキット・体操・公園遊びなど少しずつ頻度を上げていけると良い。 身体図式のイメージ形成ができる遊び等を増やして、生活動作や粗大運動の模倣等に活かしていく。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成している	4	0	個別療育と小集団のルール、それぞれの生活スキルの向上を図る立案をしている	
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	1	3	打ち合わせは無いがスタッフノートと口頭で確認し合っている。 スタッフ連絡帳で情報共有している。 全体の打ち合わせではなく毎日目を通す連絡ノートで確認している。 役割分担はその都度職員間で声をかけることで対応している。	内容の漏れが無いよう徹底していく。今後も現在のスタイルでも打ち合わせと同様の綿密さと効率、職員の意識を高く保持できるように取り組んでいく。
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	2	気付いたことは口頭および連絡ノートで共有している。 ⑰と同じ。 気付いた点、共有すべき点は直接職員間で話したり、職員用のノートに記載することで共有をしている。	⑰と同じ
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	0		今後も記録の徹底についての意識を高く保ち、また、毎日の記録を基に、支援会議や日々の会話の中で支援の検証・改善検討していく。
	⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4	0		
関係機関や保護者との連携	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	0	児童発達支援管理責任者・管理者が出席している	
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3	1	必要に応じて児童発達支援管理責任者・管理者が連携を図っている	現在は連携の機会があまり無いが、あれば実施していく
	㉓ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
②4	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
②5	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	1	②に同じ	幼稚園等入園時に必要に応じて実施していく
②6	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	0	保護者を介して個別の教育支援計画への情報提供書を通じて、利用者が小学校で過ごしやすくなるように情報を伝えている。	
②7	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	1	主に研修会やインターネットで情報を得ている。	
②8	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	3	1	殆どの児童が個々幼稚園・保育所に所属している。、当所では公園で遊ぶ機会がある。公園などで遊ぶ際に一緒に遊ぶなど交流する機会がある。同じマンション内の保育所の子どもと公園で一緒になるくらい。	
②9	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども。子育て会議等へ積極的に参加している (回答無記入1)	0	3		現在は参加の機会が無いため、参加の機会があれば実施する。
③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	0	面談や日々送迎時のやり取り、連絡帳で共通理解を図っている。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
	③① 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレントトレーニング等）の支援を行っている	2	2	家族への助言・提案を実施している。プログラムとしてのペアレントトレーニング等は資格を持ったものがすべきと考えており当所にはいない。ペアレントトレーニングという形ではないが状況などによってどのような対応を取るのが良いかなどのアドバイス支援を行っている。	
保護者への説明責任等	③② 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	0	契約時や変更時の書面で伝えている。	今後も丁寧な説明を心掛ける。
	③③ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4	0		
	③④ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	0	口頭や連絡帳で応じている	
	③⑤ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	4	保護者会等の必要性としては現在のところ高くないと考えているが検討はしている。	保護者会については、毎日通う定まったクラスと異なり、発達段階の違いや必要な情報が異なるため有効性を検討中である。情報交換等については職員を介して個々に行っている。今後については引き続き検討していく。
	③⑥ 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4	0	解決フローチャートがあり面談他日々の利用の中であった場合対応している	
	③⑦ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	0		活動報告は現在行事が主のためそれ以外も発信する。
	③⑧ 個人情報の取り扱いに十分注意している	4	0		荷物の入れ間違いが無いようにすることも含め、意識を高めて取り組んでいく。今後も利用者所持品を丁寧に扱う。
	③⑨ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	0		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標	
		④①	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	2	法人として他事業所で行っている。 近くの同じグループの事業所で行っている。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4	0		今後も会議で扱い、保護者には年度替わり等に伝える。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	0	毎回の避難訓練から改善点・良かった点を見つめ直して形になってきた。持ち出すもののリストを作成し、実際の場面で慌てないよう訓練した。	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	4	0		
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	0	保護者を介して指示を受け、対応を実施している。	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	0	法人内の実際のヒヤリハット報告書を会議で検討している	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	0	毎年会議で扱っている。	
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	0	身体拘束は食事時等の椅子座位保持の安全確保が必要な場合のみであり、保護者の同意を得て支援計画に記載している		

社会福祉法人愛誠会 幕張キッズ（放課後等デイサービス）

保護者向け放課後等デイサービス評価表集計表

実施日	令和2年 11月9日～12月10日
配付数	30
回収数	17
回答方法	無記名

※『事業所における自己評価結果』も併せてご覧ください。改善点・工夫している点等の記載があります。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・体制整備	①	子どもの活動スペースが十分に確保されているか	6	11	0	・その日の予約によりけりですが、本人は満足しているスペースです ・ややせまいと思う
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	17	0	0	
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	14	3	0	
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	17	0	0	
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	11	6	0	・最近ではDVDを見に行っているような・・・、季節を感じられるような活動があれば・・・。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか	2	9	6	・特に必要とはしません ・コロナ感染等の関係で出来ないと思う
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	17	0	0	
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解が出来ているか	17	0	0	
	⑨	保護者に対して面談や育児に対する助言等の支援が行われているか	17	0	0	
	⑩	父母の会の活動の支援や保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0	13	4	
	⑪	子どもや保護者からの苦情について対応の体制を整備すると共に、子どもや保護者に周知説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	15	2	0	・苦情を言ったことが無くわかりません
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	17	0	0	
	⑬	定期的に会報やホームページ等で活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	16	1	0	
	⑭	個人情報に十分注意しているか	17	0	0	
非常時等の	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定し、保護者に周知説明がされているか	17	0	0	
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	17	0	0	
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	17	0	0	
	⑱	事業所の支援に満足しているか	16	1	0	・大変満足している

社会福祉法人愛誠会 幕張キッズ（放課後等デイサービス）

事業所における自己評価結果

令和2年12月

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している 点など
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等のスペースとの関係で適切であるか	1	3	1	制度上の要件は満たしているがスペースが狭いと感じている。児童数の多い時には机やカラーマットの置き方で空間を分けるなどして工夫している。 検討中である児童の更衣場所設置について、今後具体的にしてい
	② 職員の配置数は適切であるか	3	2	0	加配し運転職員も配置しているが、学校・自宅送迎もあるため、安全性を保てるよう配慮する。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	4	0	マンションの一室のため段差等がある。特に駐車場までの移動時の配慮をしている。
業務改善	④ 業務改善を推進するためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画しているか	2	3	0	目標管理・業務意識についてのセルフチェック表の実施、会議での検討の機会を設けている。
	⑤ 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	0	0	放課後等デイサービスガイドラインの保護者評価を公表すると共に会議で改善点を検討している。
	⑥ この自己評価表の結果を事業所の会報やホームページ等で公表しているか	5	0	0	ホームページで公表している。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	2	1	第三者委員による評価については法人として検討している。市の実地指導を受けている。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために研修の機会を確保しているか	5	0	0	毎月職場内研修を実施。その他外部研修に適宜参加している。
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	0	0	当所アセスメントをはじめ、学校や家庭でのニーズを分析して立案している。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	1	0	事業所作成のアセスメント表と保護者からの情報提供（標準化されたアセスメント結果および所見）を使用している。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	2	3	0	それぞれの担当者が主になり提案し、検討している。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している 点など
⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	1	4	0	<p>毎回宿題等に取り組む時間を設定しているため、下校後の時間は固定化しやすい現状がある。まず休日や長期休暇中の過ごし方を見直ししていく。また、学習内容は持参ドリル等の他、手指機能教材等々を実施している。</p> <p>季節の制作など準備しているが限られた児童になりがちなため広げていく。</p> <p>新型コロナ予防で戸外に行きづらい現状だが、その分室内で体を動かす活動を取り入れていく。また、地域店への買い物等も感染症流行が終息した後に行く予定である。</p>
⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめて細やかに設定して支援しているか	3	2	0	<p>持参の宿題の他、個別課題を提供している。また公園での戸外遊びや、自由に過ごす時間にはそれぞれがやりたいことを主に場を設定している。休日や長期休暇は年2回の遠足等を実施、おやつ購入や外食を実施している。今後も検討していく。</p>
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	1	0	<p>個別活動を主としながら、帰りの会や掃除、行事などでの集団活動も取り入れた立案をしている。</p>
⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	2	3	0	<p>出勤時間が異なることや送迎の関係で全職員での打ち合わせは難しいが、申し送りノートや口頭確認で支援内容の確認や振り返りを行っている。</p>
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	1	4	0	<p>⑮と同様の形態で共有している。</p>
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	0	0	<p>記録徹底の意識を維持できるようにし、会議や日々の会話の中で検証・改善検討している。</p>
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	0	0	
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	5	0	0	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している 点など
関係機関や保護者との連携	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	1	0	
	㉑ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4	1	0	実施しているが漏れることがあったため、適切に行えるように徹底する。
	㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡態勢を整えているか	/			
	㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	2	0	当事業所の児童発達支援からの利用者のため情報共有できている。
	㉔ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	2	0	障害福祉サービスへ移行する年齢児童は昨年度からであるが、現在のところ保護者・相談支援専門員を通しての情報提供である。
	㉕ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	3	0	連携には至っていない。研修参加後の報告や情報を職場内研修に反映している。
	㉖ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害の無い子どもと活動する機会があるか	0	2	3	事業所の活動としては場がないが、個々が地域の学校に所属している児童も多いため交流がある。また公園で遊び接する機会がある。マンションの行事に参加している。
	㉗ (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	0	4	1	参加の機会があれば実施していく。
	㉘ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	0	0	面談の実施の他、主に日々の連絡帳でやり取りしている。今後も共通理解の方法を検討すると共に各職員の資質向上を図る。
㉙ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	3	1	支援員が可能な範囲で対応している。ペアレントトレーニングプログラム等はその有資格者がすべきものと考えており、当事業所にはいない。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している 点など
保護者への説明責任等	③⑩ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	1	0	契約時や変更・更新時に書面で伝えている。今後も丁寧な説明をしていく。
	③⑪ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	1	0	可能な範囲で実施している。職員の知識・技術の向上を更に図る。
	③⑫ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	2	3	保護者から父母会や保護者会の要望は無い。 児童年齢や発達段階が幅広いため、現段階では保護者会よりも個々の必要な情報に応じて連携を支援することが有効と考える。今後も検討していく。
	③⑬ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	0	0	迅速・適切に対応していく 日頃から保護者・児童との信頼関係を構築できるようにする。解決フローチャートを策定している。
	③⑭ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	1	0	今後もおたより・なのはな通信およびホームページで伝えていく。現在は行事中心となっているため、行事以外の様子も伝えていく。
	③⑮ 個人情報に十分注意しているか	5	0	0	児童の私物管理を含めて注意していく。
	③⑯ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達の為の配慮をしているか	5	0	0	今後も視覚・聴覚個々に適した方法での伝達に配慮していく。
	③⑰ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	2	2	法人として近隣の別事業所が祭りに招待し、当所も参加している。 マンションの七夕やクリスマス飾り付けに参加している。
非常時等の対応	③⑱ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	1	0	今後も職員会議で扱うと共に、保護者には年度替わり等に伝えていく。 現在は新型コロナウイルス対策を常に徹底し、職員間で情報を共有して児童への感染予防と職員の意識の保持に取り組んでいる。
	③⑲ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他の必要な訓練を行っているか	5	0	0	避難訓練を実施し、広域避難場所への避難経路も体験している。
	④⑰ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	1	0	毎年会議で扱っている。
	④⑱ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	1	0	現在身体拘束の実施は無い。車椅子の落下防止のために必要な場合は保護者了承のもと支援計画に記載している。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している 点など
④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	1	0	保護者を介して投薬方法等確認し、昼食やおやつを提供にも配慮している。 当該児童専用のおやつケースを作りその中からおやつを提供している。
④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	0	0	法人内の実際のヒヤリハット報告書等を会議で検討している。